紀氷記 寛永十四年 夏

廿六

和書門 類 一五七八一號 一七九函 四架 四冊

内閣文庫 和書 類 一五七八一號 一五一函 一架 四冊

内閣文庫	
番號	和 15781
冊數	4(　2)
函號	151　118

綴じ部（喉部分）の文字など開きが不鮮明な箇所あり

国立公文書館 National Archives of Japan

寛永十四年

四月大 朔日

一 右大将様まいり安

一 為當日之御礼御儀尾州殿水戸殿登城

一 同日 紀州殿去ル廿八日路次より御忌痛付

上使 安藤右京進 伊賀守道中迄被遣之

一 備考 摂津守水野安信卒 九年四月拝所領

日本政府図書

浅草文庫

国立公文書館 National Archives of Japan

四月二日

一 大樹様ニも御平安

四月三日

一 大樹様ニも御平安

四月四日

一 大樹様ニも御平安

一 同日 尾州様御機嫌尾州殿より阿部伊勢守を以被仰
より山形より西尾隠岐守江 極上酒井雅楽頭帰

伊豆守当酉

四月六日

一 大樹御平安　のち紀

一 日　御本丸清水之縄張内　上覧被成

一 二番之鶴二ツ飛来　縄張之上ニ而舞

紀年録四月朔日之条云　郭内所制養良之鶴雙西隻相率来守者随追而返之少焉有雌雄鶴自空舞下人皆奇之既而指東而飛事已達於　台聴有御感依　御大僧正天海作祝詞大徳寺沢菴和尚時在江戸献頌并序道春法印為之記烏丸大納言光広時在江戸作假名記詠倭歌二首

一 以前者御機嫌之　西之丸御成被成候

東福門院殿ゟ之御使者　御祝儀

四月十六日

一 大樹御平安　のち紀

一 日　紀伊殿御帰国ニ付御暇之為御使

やくときとし

四月七日

一 ノのト記

一 大樹ハ平安

一 同 為御機嫌伺尾州殿出城

四月八日

一 ノのト記

一 大樹ハ平安

一 同 為御機嫌伺尾州殿ゟ御使者 少将殿

山崎辺迄御乗物ニ而被上 直ニ井伊掃部頭殿御越

四月九日

一 大樹御手安

一 竹尾[illegible]七十年死去[illegible]家つく五百石[illegible]

四月十日

一 大樹御手安

一 同 板倉内膳正日光へ 御使被遣候

一 同 細川[illegible]

両山別 紀伊殿[illegible]

四月十一日

一 大樹御手安

一同 為御機嫌伺尾州殿水戸殿登 城之面々

右同様ニ付登 城

一同 紀州殿昨日到着ニ付為 上使酒井雅楽頭被遣之

紀伊 上使被遣候ニ付 [illegible] 上様より [illegible] 常陸殿登 城

上様より [illegible]

尾水戸紀

一 大樹様御平安

四月十二日

尾水戸紀

一 大樹様御平安

四月十三日

一同 為御機嫌伺尾州殿水戸殿登 城

一同 尾州殿水戸殿出之 城ニ而於山里 御対面

一同 日光御社参為御祈禱 [illegible] 被仰付之

紀記

上使[illegible]公御拝[illegible]上[illegible]

[illegible]上使衆様[illegible]尾州様[illegible]射[illegible]

[illegible]上[illegible]射[illegible]

[illegible]

[illegible]常陸殿[illegible]成

一 大樹御平安　四月廿四日
右之記

一 大樹御平安　四月廿五日
右之記

一 同　御当家ニ[illegible]尾張中将殿水戸中納言殿御成

一 大樹御平安　四月廿六日
右之記

紀 上様二之丸ゟ本丸へ御成 [illegible]

四月十七日

一 水戸 紀 大樹より清水殿へ御成 清水殿ゟ [illegible]

一 [illegible] 酒井讃岐守 [illegible] 上

紀 [illegible]

[illegible]

未之刻 上様二之丸へ 御成 [illegible]

四月十八日

一 水戸 紀 大樹より御成

一 同日 尾張・紀伊・尾州殿・水戸殿 [illegible] 城

四月十九日

一同、大殿様尾州殿父子御同道にて御座候か
山鉾御見物之上而[illegible]対面

四月廿日

一 大樹様[illegible]渡

一同 大殿様尾州殿水戸殿御出成

四月廿一日

一 大樹様[illegible]渡

紀州
[illegible]殿[illegible]上意[illegible]対面[illegible]

上意[illegible]

一[illegible]上九事

[illegible]

一日 上[illegible]

四月廿二日

一 大樹ニ〻御時

一 同 為御機嫌尾州殿ゟ御使者 越

四月廿三日

一 大樹ニ〻御時

紀記 尾州殿ゟ御使者右御見舞

紀記 今日紀伊様以下無之日

一 同 時服ニ付御禮

銀弐百枚 綿百 松平伊豫守

綿弐拾 同 土佐守

銀五拾枚 綿弐拾 加藤式部少輔

綿弐拾 松平右近将監

銀百枚 綿弐拾 金森出雲守

銀五拾枚 綿弐拾 京極但馬守

綿弐拾 加藤民部

綿弐拾 松平大和守

銀五拾枚 綿百 松平式部少輔

銀五百枚 綿五拾 佐竹修理大夫

銀五拾枚 綿弐拾 上杉弾正大弼

銀百枚 綿拾 津軽土佐守

銀五拾枚 綿 縞織 小出対馬守

綿拾 相馬大膳亮

従十 本多飛騨守

従十 溝口出雲守

従四 羽織 松下石見守

従〃 羽織 土方彦三郎

従〃 羽織 九鬼式部少輔

従〃 羽織 一柳丹後守

従〃 羽織 伊東若狭守

従〃 羽織 池田内膳

従十 脇坂淡路守

従十 岩城但馬守

従〃 羽織 遠山刑部

従〃 羽織 六角主殿

従四 羽織二 織田図書

従四 羽織 一柳隼人

従四 羽織 谷大学

従之 羽織 京極主膳

従四 羽織 山名主殿

従之 羽織 一柳美作

一日 尾州殿御簾中年十五

四月廿四日

一 大樹様ゝ清水御参

御戸紀

紀伊

増上寺ゝ御参火御所

四月廿八日

一 大織冠の御法度　あ戸紀

紀紀
日吉田中　法覚と度ニ出仕日ニ三郷其外ニ合候加賀兵衛尤申ける
上様大織冠御法度ニ　見物ニ申候　御蔵ニ日吉田中　伊豆殿大夫殿日小猿ニ申
候ニ付ニ大織冠ニ而ニ付候　法覚ニ付候

四月廿六日

一 大織冠の御法度　あ戸紀

紀州紀
法覚殿今日ニ付候法覚ニ　大織冠ニ而紀州　見物ニ付ニ而ニ而ニ而候ニ
上様大織冠御法度ニ付御目見　上意ニ而ニ候ニ付中ニ申　上意
ニ而日紀ニ而ニ法覚　大織冠ニ年寄中ニ小猿ニ而ニ候　上様ニ大織冠ニ而合
在ニ日田ニ大夫ニ申ニ候　　あやし

四月廿七日

一 大織冠の御法度　あやしき

四月廿八日

一 大樹御成被遊　（水戸紀）

一 同 尾張殿より御使者 水戸殿より 城 [illegible] 尾張殿 忌中 紀州殿 [illegible] 被仰付

一 同 今度[illegible]被仰付

紀伊紀
上様[illegible]出御 [illegible] 御成 [illegible] 上様 [illegible]
[illegible]
同
[illegible] 上意 [illegible] 上様 [illegible] 紀州 [illegible]
[illegible]

四月廿九日

一 大樹御成被遊　（水戸紀）

紀伊紀
上様午刻 [illegible] 御成
[illegible]

四月晦日

一 大樹御成被遊　（水戸紀）

紀 紀
上様山王え御参詣ニ付上下不残ニ被為成候、成宗海老ニ付御奥方年寄女中へ
こゝ御膳上り候ニ付、成去方ニ而御人々ニ而自分ニ而一ツ
御ニ而御荒神ニ而御ニ付
杉原御紙ニ而御被下
日
御女中方ニ而御目見　還御之節ニ而御被下ニ而被仰出
一 当月御用御書付水戸殿御書付代官所ゟ御八日ニ而御渡ニ相成候
一 五月十八日御次紀ゟ御渡ニ付御請書御年寄

五月小朔日
五ノ日紀
紀 紀
一 大樹わくまけり度
右ニ付御膳上り御弁当ニ付御家老え御目見ニ而上ゟ御手当御申
五月二日
五ノ日紀
紀 紀
一 大樹わくまけり度
上様御機嫌能被為成御座候ニ付御申上、御膳上り候ニ付、御被仰出
日
年別ニ而御城ニ而御年寄衆御荒神ニ付、上様ニ而御膳下り大御所ニ而御機嫌ニ付
御ニ而御ニ而御申

五月三日

一 大樹ハ、御こしまいられ候　あさの記

紀記
上様ニハ東駒場御鷹野被遊左之とふ人々まて上る御かちにて御鶴をあしらハれ候也引給
上んく御成是非上る也

五月四日

一 大樹ハ、御こしまいられ候　あさの記

紀記
上様ニハ三日之御鷹場にて手引御鷹上る御鶴上る也

五月五日　あさの記

一 大樹ハ、御こしまいられ候

一 同 為御祝儀年こしまいられ候御祝儀の御座敷出御常之通御座候御目見

右ニ付
城出仕御目見御祝儀申上候

周防守殿 城州より

紀伊
諸大名衆中 城内ニ而御勤被成候ニ付 何れも相心得候様 与申越候
同日
紀伊
上様御機嫌御伺被遊 年寄衆より申越候 右御請 御使者を以申上候也
月番年寄衆 御使者を以 御用之儀申上候 御請 御使者を以申上候
城内ニ而 御勤向之儀 年寄衆中より 御機嫌伺之儀 申越候
右之通り 御請申上候 各江申越候
各江被仰出

五月十六日
紀伊
一 大樹江御機嫌伺被使
一 同 右者御用御頼被成候ニ付 御礼被仰遣候
山城守殿 御出ニ付 御対面

紀伊
上様二之丸江御成ニ付 御機嫌伺 御使者を以申上候也

五月十七日
紀伊
一 大樹江御機嫌伺被使
上使 戸田 御刻 八日二千石 年寄 [illegible] 御膳上ル 但し [illegible] 御成被成候

五月八日

一 大蔵ゟ之書付写 水戸紀

紀紀

上様[illegible]紀州[illegible]

[illegible]九月十日[illegible]

[illegible]上様[illegible]

[illegible]

[illegible]大蔵[illegible]

[illegible]

上様[illegible]上意[illegible]

五月九日

一 大蔵ゟ之書付写 水戸紀

紀紀

上使[illegible]今日[illegible]

[illegible]上様[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 上様[illegible]

五月十日

一 大蔵ゟ之書付写 水戸紀

紀紀

上様[illegible]上意[illegible]

同

上様[illegible]紀州[illegible]

[illegible]

[illegible]大蔵[illegible]

[illegible]

五月十一日

一 大蔵ゟ[illegible]紀州[illegible] 水戸紀

一 多病ゆへ後出し御年十四の年二歳にて御預り
出し御[illegible]御[illegible]　清[illegible]様[illegible]
飽[illegible]紀州[illegible]長[illegible]様[illegible]
[illegible]様[illegible]御[illegible]上[illegible]年[illegible]
[illegible]　清[illegible]様[illegible]良[illegible]
清[illegible]良[illegible]

紀[illegible]
[illegible]三[illegible]之[illegible]
上[illegible]紀[illegible]
一 同[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

上[illegible]
[illegible]
[illegible]
月十[illegible]
上[illegible]紀州の[illegible]

紀[illegible]
上総の[illegible]
一 [illegible]紀
一 ちよ様[illegible]安
五月廿二日

一 [illegible]紀
一 ちよ様[illegible]安
五月十[illegible]

紀伊
月 上総殿御亡人ニ勝手向ニ付三方ゟ申し
渡候ニ付教馬之出し候ニ付[illegible]大分尾州 出し 候ニ付同人[illegible]上意
至近川中申出候処返事

宝永備考
一 右書付ニ付延享 正月廿八日

紀伊
上総殿御隠居ニ付[illegible]勝九時[illegible]上意[illegible]三ヶ月

右同紀伊
一 大蔵卿局 安
右同十四日

右同紀伊
一 大蔵卿局 安
右同十四日

一 同
当[illegible]大蔵卿局[illegible]尾州[illegible]
出し 尾州 [illegible] 紀伊[illegible] 同 [illegible] 城

紀伊
上総殿御隠居ニ付[illegible]勝上意三ヶ月[illegible]
月 上総[illegible]尾州[illegible]紀州[illegible]城

右同十六日

右紀
一 大樹御平安

一 同 為御保養尾州殿へ御鷹之雁右之殿より

山里[illegible]被遣之[illegible]封物

紀紀
御使[illegible][illegible]二之丸[illegible][illegible][illegible]

五月十七日

右紀
一 大樹 清閑[illegible]

紀紀
一 [illegible]

紀紀
山里[illegible]二之丸[illegible]二之[illegible]山里

五月十八日

右紀
一 大樹御平安

一 同 為御保養尾州殿右之殿へ被遣

城

紀紀
上様御婦[illegible]山里[illegible]

同
[illegible]

五月十九日

一 江戸記 大樹御平安、

紀記 上様巳刻ニ御膳上ル、御機嫌能御座候而、午之刻ニ山里ヘ御成也

五月廿日

一 江戸記 大樹御平安

一 同 御機嫌伺巳刻尾州殿水戸殿也

城主中ノ進退

紀記 上使伊豆守殿被参候御前へ[illegible]之通[illegible]上ニ而[illegible]

御奏者[illegible]御進[illegible]御待[illegible]常法[illegible]城

上様[illegible]上使ニ騎[illegible]

同 上様御[illegible]御膳未ノ刻ニ上ル也

五月廿一日

一 江戸記 大樹之[illegible]御祝儀[illegible]家中文より酒井讃岐守

下野國上ミ為入清院之し

紀記
上旅の病脈巳刻ニ癒上ルりしも一度絶ヶ山里ヶ得快虎ニ
御番ニ赦むりうり脈ハ書ヲ見ニ未荒かけ々解絶ニ
還御日番ニ止三十六日中ハ

一 大樹ハ平安　天々紀

大月廿二日

紀記
上旅の病脈相ニ癒巳ミ刻ニ上ルりしも頭巳後刻二ミ度ニ二ミ出
他の脈ハ愛中ニ恵ミハ後ニ恐ニ服ミ系ミ後ミ中ニ三十六日中

一 大樹清平安　天々紀

五月十六日

紀記
上旅の病脈通ミ刻ニ中ニ御ニ脈ミ脈及ニミ内ミ上ミ上ミ也

五月廿四日

一 大樹御平安

一 同 為御名代巳之刻尾州御発足水戸御発足 城

其申ノ刻還御

紀記 増上寺へ御成大猷院

同 上様御機嫌克巳之刻御膳上りニこうりかうりこう之由

寛永備考 一 松浦肥前守隆信卒　此日五月廿六日

五月廿五日

一 大樹御平安

一 同 於二丸松平伊豆守御借 紀記 一之覚 揚上ニ弓揚也ニ

紀記 上様御機嫌克巳之刻御膳上り

上覧

同 御姫様より御膳ノ御銚子ノ外御膳ノ上候 酒井讃岐守被仰候ノ御女中ノ御まの申

五月廿六日

一 大樹御平安

一 同 右御祝儀相済已後 尾州殿 水戸殿登 城

紀伊

上使 [illegible] 已後 [illegible] 上 [illegible]

同 廿七日

一 大樹御平安

水戸 紀伊

上使 [illegible]

同 廿八日

一 大樹御平安

水戸 紀伊

一 同 [illegible] 御祝儀 [illegible] 尾州殿

紀伊 [illegible]

水戸殿 出 城

上使 [illegible] 山 [illegible] 城 [illegible]

五月廿九日

一 大樹御平安 その后記

一同 先乃頃之通御警衛組

菊池 本多喜彦 三番三 小幡勘ノ丞

野村太郎 天野 猪飼太郎 鹿三郎 清二郎 多賀孫紀 寺田文三郎

福岡七三郎 清渡 青木喜太郎 三太郎 十兵衛 三四郎

中山勘解由 渡辺傳兵衛 三左衛 勘之丞 武藤源太夫 多四郎 一太郎

早川半七郎 猪飼 猪太郎 鹿三郎 又二郎 猪八

駒井三郎 百介 寺田勘四郎 庄九郎 岩本喜四郎 大久保右衛門 三四郎

浅田政五郎 白井 寺田孫太郎 三太郎 矢部市十郎 高島権兵衛

田中吉右衛門 荒井 森本喜太郎 清七 清二郎 文三郎

多賀孫右衛門 三井寺 山口猪兵衛 鹿太郎 文三郎

土屋七三郎 鹿六 猪太郎 庄九郎 寺島伊三郎 永倉孫兵衛 高島権兵衛

多賀三郎太夫
海士　三郎太夫　十兵衛　彦三郎　又三郎　多賀太紀

多賀太夫
狂言　菊太夫　三太夫　清三郎　権八　三四郎

早乙紀　杉本三太夫　荒木　中川太夫

胡蝶　長谷川太夫　清大　杉尾小太夫

紅紀
上様御出座之上御膳上り御祝之後

加ツ
一　宝生　備前守様御出　以後御膳二ノ御膳被召上候以後宝生大夫
是月

六月小 朔日 是ヨリ小右紀欠

紀州
紀伊

一尾州様の衆御紀州御供ニ而御座候ニ付城
成年寄衆之内へも遣ニ而淡路ニ被下候
被成ニ付而御返ニハつまり候ハゝ可為
進上候御内衆ニ付而年寄衆ニ付ニ被仰候
指遣候年寄衆ニ御取次被申入ル筈之事
此儀ハ秘候也

一同
上様御機嫌伺候為御上使被遣候

三方ゟ申入

六月二日

紀州紀

一 上様より御まへへまいり候て御振舞にあつかり申候

りうさうの御ことにて候へハ御たいへ御振舞候

則よんとりに晦暁に山里へ御成にて候

三方ゟ申入

六月三日

紀州紀

一 上様御鷹狩ニ二ノ丸へ御成候 成候由三方

申入

宗家

一 三條殿御所ニ御渡候て御つくら

十二月四日

一 紀州侯 上様御鷹野御成手判ニ而御上ケ山里ニ而御
入与力庭ニ而御 仰付御目見被成候也

寛政備考
一 寺田大和守利孝卒 延享九月八日ニ卒也

十二月五日

一 紀州侯 上様御鷹野御成之手判ニ而御捕上ケ御拝領
申之者有之由

十二月十二日

一 紀州侯 上使松平伊豆守被召上 十二月之内ニ紀州

一之者色紙御行　三好為三被召候て内々

之御所ゟ参候て御礼申之御菓子承候

桐箱ニて御代一折　金子壱枚ニ菓

子台ニ置候て御供衆ニ御使候へく御目被下候

り物語りに　式中ニ三条によしよし被仰候

之御茶あいしらい候へく候由候

御対面之様ニ候御座候之所御同心一段御祝着

六月七日

一上臈御局様御成候（紀州紀）六月八日

御膳之御盛ニ御所様ゟ被下之

紀州紀　六月九日

一上様清須御越之刻、膳所ニ而御目見

三歳御中也

一同

上様清須御[illegible]被[illegible]一貫[illegible]十一歳

[illegible]也

紀州紀　六月十一日

一上様御[illegible]候ニ而御目見[illegible]

上ル日[illegible]中也

十二月廿一日

一 紀州 伊予殿より文参る、庭にてあそはし候
真々の（御）事とて 上臈に一字まいらせ候事申さるゝ
御さうちうにて帰

一 同日 上様 伊予殿へ御出、大納言殿へ（御）まいらせ候
御（参）事として 上臈へ一字まいらせ候
[illegible]より [illegible] 大（納言殿）へ [illegible]

[illegible] 大納言殿へ [illegible]
伊予殿へ [illegible] 御帰、又 [illegible]
[illegible] 文 [illegible]
上 [illegible] 中山殿 [illegible]

一 同日 上様 [illegible] 常陸宮 [illegible] 成
一 同日 大納言殿へ [illegible] 上様 [illegible]
[illegible] 院 [illegible] 参

[illegible] 院 [illegible] 文 [illegible]

一 武田道安法眼信安 去年 [illegible] 上洛 [illegible]

寛永七寅
一　乍恐書付を以申上候　皆九月

一　紀州紀　六月十二日
上様御機嫌能御座被遊候ニ付、御機嫌伺ニ二丸登城

同日[illegible]

寛永十四丑年
十二月十二日卒

紀年録
一　京極若狭守忠高卒年四十五歳無實子以京極刑部少輔高和雖為養子不許於播州龍野賜采地六万石於高和

寛永
一　[illegible]

一　紀州紀　六月十三日
上様御機嫌能御座被遊候ニ付、以使者御機嫌被仰上候

一　紀州紀　六月十四日
上様御機嫌能御座被遊候ニ付、御機嫌[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

一 歳上りの御祝言の左右ゟ申しこ

六月十四日

六月十六日

一 紅粉紀
上らうより清閑寺殿御使にて二ふしみへまいる　御はしまいる

中に

一 同
清閑寺殿へ此御所より清閑寺殿御使
上らう表へまいる　御はし

紀州記
一 紀伊無量山ニ 六月十七日
上様御代参被成
下向
上様御清涼殿 会津中将ニ被仰付 御機嫌能候
御月ノ殺の いせあるニ 町田ニ被申候

高野山

紀州記
一 上様御法事 御機嫌能候而 御山御参詣ニ被為成候
御機嫌能上り 御心よく御静謐ニ被成候

紀州記
一 六月十九日
上様ノ御機嫌能 辰ノ刻ニ 山御発駕被為成
辰ノ上刻ニ 臨駕上り 御静謐ニ年ニ而被為成候

一　御膳上ル中ニ而被為成、御機嫌能御帰之節
　御機嫌　山里　還御之節三右衛門申上ル

十二月廿日
一　紀州紀
　上様御機嫌能被為成、御別之節、御膳上ル　御錦手袋
　三右衛門申上ル

十二月廿一日
一　紀州紀
　尾州様・水戸様・紀州様　御同道ニ而被為成
　御機嫌　御手前　常御座之間ニ而御対面　御帰

一　同日
　上様御機嫌能　山里ニ被為成候、又御手ニしやうきん
　二ノ丸　一方ニ　今朝　御座之間ニ而御膳上ル来ニ付、御目見ニ

三度上使ニ而相済申候

備考
一 本多備前守病卒　遠藤九兵衛

六月廿二日

紀州紀
一 上様御機嫌伺紀州ゟ黒田ニ而　御膳上ル御拝
新上使ニ而相済申候

六月廿三日

紀州紀
一 増上寺ゟ松平大炊頭

六月廿四日

紀州亿
一 姫君様御入ニ付而承応元年尾州御入
之節紀州様御同前ニ而城主如前
古居成田頼宣卿ヨリ日夜御供可申候 姫君様
ニ付而其年中被為入候而御年寄
衆上下共御泊之度毎ニ御下向之節御膳
おりこ
御前へ被為成候節御膳給日夜御丈夫
一 姫君様御入ニ付而尾張中納言殿御供被成
御作法御供衆ニ而御帰也

一 同 伊豆守夜昼度々 姫君様御入ニ付て
下野守上下御機嫌伺ニ承応元年十月尾張江
以下其外小姓人の者共御供申候二年十月尾張江
御同道御機嫌伺御出之思召候御感
右之節御目付衆右同人一の使ニ成就
居候松平同じく清撫伊豆守
老中御供被申候春日局
其後春日局牧野殿

一 姫君御入之事申入候へ共、何分ニも[illegible]在国
御待被成候由、然共、[illegible]大国
御座候間、相延申候而、可申候
一同 姫君御下ニ付、御逗留[illegible]春日へ御参詣之儀、上々[illegible]之衆
一同 姫君御下ニ付、御祝儀之様子、[illegible]御供之衆
御供之衆、上々之衆
一 大坂 姫君様御供之衆[illegible]、大田[illegible]之御宮参、[illegible]
捨上申候、[illegible]被申候、御祝儀[illegible]

一 紀州紀 六月廿八日
姫君御入之事、御城中[illegible]
御所[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一同 春日御参詣、御供[illegible]之衆

一同
姫君御ハ三ツ〇父ハ尾州様水戸様
紀州様御家老衆 城ニ当分居被書院
ハ被寿ヶ渡ニ〇尊元申ニ御座候
五ヶ〇所ニ御座候ハ〇[illegible]ニ被仰付ニ候
成り申寿日夜ニ仕合ニ事仰付ニ御座候也
一同
姫君様ハ行列ニ大名衆被成候
ミ温殿御[illegible]

一紀州紀
姫君様ハ三ツ父様御[illegible]候 六月廿六日
五歳御ゆかり[illegible]〇[illegible]
然ニ来リ三ケ月ニ参り申候
一同
姫君様ハ[illegible]中[illegible]

無之ニ付夕刻分ニ而ハ下役中ニ而ハ中々ニ候得
唯今ニ而ハ無之中ニ候得共彼是ニ而参り候ニ付来
一同　姫君様御種痘御同人ニ而泉涌院様壱日頃上候
差上候ニ付
一同　姫君様御機嫌御伺ニ付浅野殿小笠原ニ而
種痘ニ付御成ニ付御ニ付殿御出ニ候
御座候　上様ニ付種痘様山里ニ而御成御伺之
大坂御役被仰付候ニ付候ニ付而ハ年頃ニ付

就夫山里ニ而於ニ付ニ而ハ上ニ付中ニ付候
平ニ而様も殿ニ而種痘ニ付御伺御使
ニ付ニ而御伴ニ而清路帰り申上
一同　上使大目付御使番被仰上候ニ付二之丸御番
二之丸ニ而御座候御機嫌ニ而三ノ丸御出
一同　姫君様御祝儀ニ付東叡山ニ而於ニ付御札ニ而日候
上達ニ付差上　御蔵役衆持参御使番御座候
御外御座候ニ付御伺之事ニ付候

十二月廿七日

一 尾州様より（紀州紀）御文にて今日も御機嫌よく候
坊丸参り申上る名代に常陸守殿遣され
上下へ申上られ候に付御返事に
常陸殿より御挨拶

一 同 姫君様より文にて今日御前様霊鑑院様御月夜の使
夜分参る

一 同 姫君様より文にて御病気に付御成の御事御見合せ
見しけに御覧にも御さしおかれ候
遣はされ 御返事に 大分にて

一 同 上様より御内々御尋に付御機嫌伺ひ山里へ為
御膳上り候ても遣はされ候御事候
御成の上にて延引仰出され候

六月廿八日

一 （紀州様）姫君様御誕生ニ付為御祝儀御表
常憲院様御忌ニ付増上寺尾州様御名代御参詣

一 同
上様増上寺御参詣御成山里ニて御膳上ル

より二ノ丸ニて御能加賀守被遊候上ル

成候御十二時ゟ[illegible]
大納言様御成候御供ニ而
大納言様御供被成候加賀守御供被仰付候
同日ニ御三家御成[illegible]

一 同
姫君様御七夜ニ付常憲院様御霊屋御参詣
被為済候

十二月廿九日

一 上様御婚礼之節常ニ山里[illegible]御服上ヶ
　[illegible]如[illegible]御[illegible]被遊[illegible]之[illegible]

一 姫君様[illegible]御[illegible]方 常御召[illegible]被[illegible]日[illegible]
　被為入

一 同 姫君様ハ[illegible]常御[illegible]被[illegible]

一 同 姫君様[illegible] [illegible]御[illegible]常[illegible]

尾州様御[illegible]

一 [illegible]御代姫君様御名[illegible]
　[illegible]
　人見[illegible]御代姫君様御[illegible]

一 [illegible]
　[illegible]御代姫君様[illegible]

[illegible stamp]

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan